

報道関係者各位

2021 年 3 月 4 日

株式会社アマナ

食の専門メディア『料理通信』主催 SDGs ウェビナー
「食×SDGs」Webinar -Beyond Sustainability- #2」開催のご案内
～社会に働きかける「食」の力について考えます～

さまざまなビジュアルコミュニケーション事業を展開するアマナグループで、食にまつわるメディア事業を軸に、コンテンツ制作やコンサルティング事業、イベントの企画運営などを手掛ける株式会社料理通信社（本社：東京都品川区、代表取締役：八島 智史）は、作り手（生産者）、使い手（料理人）、食べ手（生活者）を取り結ぶ活動を通して、「食こそが自分と地球の自然環境を結び付け、様々な問題とのつながりを示唆するのに有効である」という信念のもと、「食×SDGs」Webinar -Beyond Sustainability- #2」を開催します。



同社が、「食×SDGs」をテーマに開催した第一回カンファレンス（2019 年 11 月開催）では、「食」が社会に働きかけていける力、業態を超えて手を携えていけるフレキシビリティについて、多様な視点を持つ方々とともに、トークセッションやワークショップを展開しました。この度開催が決定した第二回カンファレンス（Webinar）では、東日本大震災から 10 年、with コロナに突入して 1 年が経過するタイミングに重ね、災害時の食の課題や東北の食に触れながら、持続可能な社会について、登壇者・参加者の方々とともに考えます。

▼開催概要

“食×SDGs”Webinar -Beyond Sustainability #2-

https://r-tsushin.com/sdgs/conference_02.html

日 時： 2021 年 3 月 6 日（土） 11：00～17：00

会 場： オンライン（Zoom ウェビナー）
※参加者には、追って配信用 URL をお送りします

参 加 費： ①無料参加チケット
②寄付つき参加チケット 2 種／各種 1,000 円（税込み）
a.「国連 WFP」への寄付つき参加チケット
b.「認定 NPO 法人おてらおやつクラブ」への寄付つき参加チケット
※「寄付つき参加チケット」の売上は、手数料等を除いた全額を各団体へ寄付し、後日『Web 料理通信』にて詳細を報告します

申 込 み： <http://s.r-tsushin.com/3kutpkZ>（Peatix 経由）

問 合 せ： SDGs カンファレンス事務局（株式会社 料理通信社内）
E-Mail/sdgs@r-tsushin.com

主 催： 株式会社 料理通信社

後 援： 福島県郡山市 / 公益財団法人味の素ファンデーション

▼プログラム詳細（予定）

11:00～11:10 主催者挨拶

11:10～12:30 トークセッション（1）

世界の飢餓、日本の貧困。－「かれら」ではなく「わたしたち」の問題

2020 年のノーベル平和賞は世界最大の食糧支援機関である国連 WFP（世界食糧計画）に授与されました。日本にも、子どもの貧困問題に取り組む団体があります。お寺の「おそなえ」を経済的に困難な状況にある家庭に「おすそわけ」する活動を行う「認定 NPO 法人おてらおやつクラブ」もその 1 つ。世界の片隅で起きている「かれらの」飢餓・貧困ではなく、「わたしたちの」問題として捉え、自分たちに何ができるかを考えます。

<登壇者>

国連 WFP 日本事務所 広報コンサルタント 我妻 茉莉 氏
認定 NPO 法人おてらおやつクラブ 代表理事 松島 靖朗 氏
UNITED PEOPLE 代表 関根 健次 氏

12:35～13:55 トークセッション（2）

SDGs 未来都市こおりやま：これからのまちづくりー 地域内連携で食の未来を豊かにする

第一走者をつとめる生産者、第二走者の仲卸し、そして食べ手と直接つながる第三走者の料理人。互いをよく知ることで繋がりを強固にするリレーのような関係が、福島・郡山で育まれた食材の価値化に繋がっています。震災の痛みを共有し、地域経済を共に支えている彼らの連携の在り方から、これからのまちづくりを考えます。

<登壇者>

「仁井田本家」18 代目 仁井田 穂彦 氏
「鈴木農場」4 代目 鈴木 智哉 氏
「catoe」オーナーシェフ 加藤 智樹 氏
郡山市 農林部 園芸畜産振興課 小林 宇志 氏

14:05～15:25 トークセッション（3）

災害時の食と栄養：フェーズフリーを手掛かりに。ー 日常にも有事にも価値を発揮するキッチンカー構想

災害時だけでなく、日常から役立つものやサービスを身の回りにおく新しい提案「フェーズフリー」。“食のフェーズフリー”を具現化するアイデアとして、国内外での事例を交えながら「キッチンカー構想」について考えます。地域・民間・食のプロが日常的に連携し、災害時の食の課題を解決に導くアクションです。

<登壇者>

一般社団法人フェーズフリー協会 代表理事 佐藤 唯行 氏
公益財団法人味の素ファンデーション 齋藤 由里子 氏
東京・代官山「アタ」広尾「オデコ」他 オーナーシェフ 掛川 哲司 氏

15:30～16:50 トークセッション（4）

「プラントベース」で描くこれからの食ー 植物と動物と人間の共存についての模索と提言

地球の命と人間の命、両方が適切に維持されるためにはプラントベースが望ましいと言われます。一方で、牛の放牧によって森や草地を守り、理にかなった酪農や畜産で、植物と動物と人間の共存が図られているケースもあります。環境が異なればプラントベースのあり方も違っていい。土地ごとにプラントベース像を描くことが、望ましい食のデザインなのではないか？ プラントベースを軸として、これからの食を考えます。

<登壇者>

農畜産物流通コンサルタント／ジャーナリスト 山本 謙治 氏
東京・銀座「FARO」シェフパティシエ 加藤 峰子 氏

※タイムスケジュールが若干変更する可能性があります。予めご了承ください。

～コーポレートミッション～
「ビジュアルコミュニケーションで世界を豊かにする。」

【本リリースに関するお問い合わせ先】
株式会社アマナ | コーポレートコミュニケーション室（担当：島田／住永）
TEL：03-3740-3500 MAIL：pr@amana.jp

株式会社アマナ 会社概要

代 表 者 ： 代表取締役社長 進藤博信
所 在 地 ： 東京都品川区東品川 2-2-43
設 立 ： 1979 年 4 月
資 本 金 ： 1,097 百万円
証券コード ： 東証マザーズ 2402
売 上 高 ： （連結）17,268 百万円 ※2020 年度 12 月期実績
従 業 員 数 ： （連結）1,041 名 ※2021 年 1 月 1 日現在
事 業 内 容 ： ビジュアルコミュニケーション事業
U R L ： <https://amana.jp/>

株式会社料理通信社 会社概要

代 表 者 ： 代表取締役 八島智史
所 在 地 ： 東京都品川区東品川 2-2-43
設 立 ： 2005 年 11 月
資 本 金 ： 95 百万円
事 業 内 容 ： メディア事業（雑誌の発行、<https://r-tsushin.com/>の運営）、その他付帯事業
U R L ： <https://amana.jp/company/groupcompanies/ryouri.html>